



「Asia Pacific International Airport of the Year (Mid-size Airport)」を受賞しました

2014年10月14日に、シンガポールで開催中のCAPA—Asia Pacific Aviation Awards for Excellence—において、関西国際空港が「Asia Pacific International Airport of the Year (Mid-size Airport: 年間15-25百万人)」を受賞しました。本アワードは、アジア太平洋地区において、航空業界において成功を収め、新しい環境に適応するべくリーダーシップを発揮している空港、航空会社に対して表彰されるものです。この度、関西国際空港は次の取組みが高く評価され、日本の空港として初めての受賞となりました。

- ・フルサービスキャリアの需要に応えつつ、LCCの需要に精力的に対応
- ・LCCの拠点誘致を行い、旅客数の増大と地域経済の成長を促進
- ・2012年に第2旅客ターミナル(LCCターミナル)を整備し、急成長するLCCキャリアのニーズに応えるとともに、更なるLCCネットワークの成長に応えるため、第3旅客ターミナルの整備等の拡張を実施
- ・日本のLCCの拡大だけでなく、海外のLCCも誘致し、LCCの比率を拡大
- ・2012、2013、2014年と連続して旅客数の大きな伸びを達成

今回の結果について、当社代表取締役・安藤圭一は、次のようにコメントしております。

このたびの受賞は、当社がこれまで行ってまいりましたフルサービスキャリア(FSC)のネットワークを拡大しつつ、LCCの成長を推進して新たな需要を創出するという戦略的な取組みについて、CAPAという権威ある国際組織に高く評価いただいた結果であり、喜びに堪えません。開港20周年の節目の年に、アジア太平洋地域のリーディング・エアポートの一つに選ばれたことは大変名誉なことであります。

現在、旺盛な外国人旅客を中心とする需要の拡大に対応して、第1旅客ターミナルにおいてリノベーションやA380対応ボーディングブリッジの整備に取り組むとともに、LCCの更なる成長を支えるための第3旅客ターミナルの建設を進めているところですが、今回、空港として日本初の受賞の栄誉を授かったことを糧に、今後、より一層お客様に親しまれ、また、関西圏そして我が国の国際競争力強化に資する空港を目指してまいります。



<受賞の様子>



KIX20th ITM75th



※CAPA-Centre for Aviationとは、
1990年に設立された航空市場に関する情報・分析およびデータを提供する域内有数の独立系シンクタンク。オーストラリア・シドニーに本部のあるCAPAのライターや編集者たちプロチームが執筆・編集を担当し、世界の特にアジア・パシフィック航空業界のトレンド及び変化に関する情報にいち早く接することを可能にするべく、分析レポートおよび業界ニュースにより航空に関する戦略的な情報とデータサービスを、業界の経営関係者に提供している。

※CAPA Asia Pacific Aviation Awards for Excellenceとは、
アジア太平洋地区において、航空業界において成功を収め、新しい環境に適応するべくリーダーシップを発揮している航空会社、空港に対して(以下の7カテゴリ)表彰されるもの。

- ・Asia Pacific Airline of the Year
- ・Asia Pacific LCC of the Year;
- ・Asia Pacific Airline Executive of the Year;
- ・Asia Pacific Airline Start-up of the Year;
- ・Asia Pacific International Airport of the Year (Large Airport: 25+ million pax p/a);
- ・Asia Pacific International Airport of the Year (Mid-size Airport: 15-25 million pax p/a);
- ・Asia Pacific International Airport of the Year (Small Airport: up to 15 million pax p/a);



KIX20th ITM75th